

平成 21 年度利用対策業務概要

1. 利用動向の把握に関する取組

(1) 大台ヶ原の利用者数の把握に係る調査分析【調査中】

- ① 山上駐車場入込み車両数調査（大台ヶ原ビジターセンター調）
ビジターセンターが継続的に取得しているデータを用いて経年的な利用動向を把握する。
- ② 山上駐車場来訪者数実数カウント調査
上記①の調査による利用者数の推計値を補正するため、実数カウント調査を実施する。
- ③ 入下山者カウンター調査
大台ヶ原に合計 8 基設置されている入下山者カウンターから得られたデータを用いて、入山カウント数の動向を把握する。
- ④ 入下山者実数カウント調査
上記③の調査による利用者数の推計値を補正するため、実数カウント調査を実施する。
- ⑤ 交通量計測調査
大台ヶ原ドライブウェイの自動車交通量を計測し、利用者数推定等に活用する。

(2) 大台ヶ原の利用に係る課題整理地図調査【調査結果の整理中】

大台ヶ原の公園利用に係る課題及びその位置情報について、既存の資料の整理及び現地調査を行い、課題を整理した基礎資料を作成する。

2. 「適正利用に係る交通量の調整」に係る取組

(1) 大台ヶ原における自動車利用適正化に係る調査【調査中】

大台ヶ原ドライブウェイ及びその周辺の交通環境を把握するとともに、自動車交通量のコントロール手法に関する事例を収集する。

(2) 大台ヶ原山上駐車場の混雑情報発信【終了】

秋季の繁忙期における交通混雑を緩和するため、インターネットを活用して、山上駐車場の混雑状況をリアルタイムで情報発信する。

(3) 公共交通機関利用促進普及啓発キャンペーンの実施【終了】

- ① ポスター及びリーフレットの作成及び配布・掲示
マイカー中心の利用形態から公共交通機関利用への転換・促進を目的としたポスター及びリーフレットを作成、配布・掲示する。
- ② バス利用者への記念品配布
公共交通機関の利用に対する意欲を高めるため、秋季の繁忙期において、奈良交通バス利用者に対して記念品を配布する。
- ③ 公共交通機関利用促進普及啓発キャンペーンの効果検証アンケート調査
上記キャンペーンの効果を検証するためのアンケート調査を行う。

3. 「より良好な森林地域の保全と質の高い利用の提供」に係る取組

(1) 西大台利用調整地区普及啓発ポスター・リーフレットの作成、配布【作成中】

広く一般を対象に、西大台利用調整地区の魅力や制度について、普及啓発ポスター及びリーフレットを作成し、関係機関等に配布する。

(2) 利用者による影響調査【調査中】

① 利用者数調査

立入り認定者数や入下山者カウンターのデータ等、西大台利用調整地区における利用者数に係る関連データを整理し、利用の傾向を分析する。

② 歩道状況調査

歩道及び過去に立入りが見られた箇所の洗掘、複線化、裸地化等の状況を記録する。

(3) 利用の質に関する調査検討((西大台利用調整地区認定者数の把握))【調査中】

① 事前レクチャーに関するアンケート調査

事前レクチャーの内容改善等のため、受講者へのアンケート調査を行う。

② 西大台利用調整地区利用後のアンケート調査

西大台地区利用適正化計画の適正な運用に向けて、西大台利用調整地区における利用者の自然に対する意識や利用マナー、行動内容、満足度等を把握する。

③ 西大台利用調整地区の認定手続きに係る実態把握

環境省が行う認定関係事務を通じ、認定手続きに関する課題や申請者の意向等について、実態を把握する。

(4) 西大台利用調整地区におけるガイド制度検討に係る調査【調査結果の整理中】

① 大台ヶ原ガイド実態調査

ガイド団体等との意見交換を通してガイド制度への意向を把握する。

② 西大台ガイド要件調査

西大台でガイドを行う者に必要とされる資質や、それを担保する資格、講習会等について、既存資料の整理や主要ガイド団体へのヒアリングを実施する。

4. 「総合的な利用メニューの充実」に係る取組

(1) 大台ヶ原自然資源調査【終了】

大台ヶ原における自然資源（動物、植物、風景等）について、文献の収集・整理や現地調査等により明らかにする。

(2) 自然体験プログラムの実施【終了】

季節に応じた大台ヶ原の魅力を普及啓発するため、周辺地域住民等との連携を図りながら自然体験プログラムを実施する。

(3) 大台ヶ原に係る展示等の実施【終了】

大台ヶ原の魅力や自然再生の取組に係る普及啓発の一環として、大台ヶ原に係る展示等を行う機会を設ける。